

## 1 事業概要

- (1) 実施日 平成26年7月3日(木)～4日(金)
- (2) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家 体育館他
- (3) 参加者 大津支援学校 43名  
小国支援学校 31名 合計 132名  
菊池支援学校 58名

### (4) 事業内容

#### 【7月3日(木)】

- 開会式
- 交流活動「アイスブレイキング」
- 調理体験「おやつ(クッキー)作り」
- フロアホッケー
- 交流活動「レクリエーションタイム」

#### 【7月4日(金)】

- 自然散策「館内, 施設周辺を散策・撮影場所を見つけよう」
- お別れ会(退所式)

## 2 成果と課題

### (1) 成果

- 開会式後すぐ, 交流班(それぞれの学校で3～4名を8班に分けた班)を組ませ, アイスブレイキングをしたことにより, 3校の生徒間の交流を深める上で有効だった。また, その後のおやつ作りでも, 交流班での活動であったが, 違う学校の生徒とも話しながら作業する様子が見られた。
- フロアホッケーは, 事前に各学校でレベル分けした班活動をし, そのレベルに即した指導やゲームが出来る先生(小国支援学校)が主となって活動したので, 楽しく安全にゲームなどをすることができた。
- レクリエーションタイムでは, 生徒(大津支援学校)司会のもと, 各学校で出し物を考案し, それらを発表する中で, おやつ作りで調理したクッキーを交流班の仲間とともに, 楽しく話しながら食べる姿を見ることができた。
- 次のプログラム開始前にはボランティア学生を集合させ, 動きの確認をしたことにより, ボランティアによる生徒・先生へのサポートがスムーズにできた。

### (2) 課題

- 休憩や移動時間を考慮したプログラムであったが, 全体的に活動時間が短かった。
- 来年度もボランティア学生を10名以上は確保する必要がある。
- 各学校より今回の事業の反省会をする必要がある。



【開会式】



【昼食（弁当）の様子】



【おやつ作りの様子】



【フロアホッケーによる交流活動】



【フロアホッケー後の記念撮影】



【レクリエーションタイムの様子①】



【レクリエーションタイムの様子②】



【自然散策の様子】